

R5 開始

04 一関市（岩手県）

～主な品目～
水稻

実施体制

一関地方有機農業推進協議会（一関市、平泉町、大東町有機農産物等生産組合、有機農業者、産直組合、JAいわて平泉、一関市農業委員会、一関市教育委員会、県振興局・普及センター等）

面積情報

有機農業取組面積：111ha 耕地面積に占める割合：0.6 %
※環境保全型農業直接支払交付金の受給面積（令和3年度時点）



1 成果目標

有機農業の取組面積の拡大 R4年度 12.42ha→ R10年度 17 ha

※一関地方有機農業推進協議会で把握している数字。（現在は、有機農業者全員が加入しているわけではない）

有機農産物の販売数量の拡大 R4年度 26.7 t → R10年度 37 t

2 有機農業を拡大していく上での課題

地域での有機農産物の生産は、有機米が大半を占めているが、雑草対策に多大な労力を要するため、既存の生産者の規模拡大や新規参入の障壁となっており、有機栽培の拡大に向けて最も重要な課題となっている。

拡大をはばむ雑草の紹介

- ・ヒエ、シズイ、クログワイ（6～8月）
【対策】
- ・代掻き2回実施、成苗での遅植、中干しまでの深水管理、水田除草機での除草（活着後から3回実施）

3 課題に対する取組のポイント・成果

- 高能率水田用除草機による除草実演会
市長がオペレータとなって自ら操縦する実演会を開催し、除草作業の省力化をアピール。話題性を創出することで、マスコミを通じて農業者等に広く情報発信。
- 初心者のための技術指導会
遅植による雑草防除に適した苗づくりなどを技術指導。

【取組による定量的な成果（見込）】

参入に意欲的な農業者の把握
R4：実績なし→R5：2法人、1個人

ポイントとなる導入技術

- 高能率水田用除草機による除草作業の省力化
- ・ 地域で主流の歩行型除草機からの転換を進める。



▲実演会（操縦者：市長）

4 主な取組内容

①生産

- ・ 有機農業の拡大に向けた課題と対応策を検討する「有機農業の振興に係る検討会」を開催
- ・ 高能率水田用除草機による省力化技術の実演会を開催
- ・ 地域内で発生する米ぬか等の有機質資源のペレット化の検討・試作
- ・ 有機JAS認証機関等と連携した新規参入者向け講習会を開催

②加工・流通

- ・ オーガニックフェスタ等のイベントでの有機農産物PRの実施
- ・ ゆかりのある蔵元と連携した地酒の商品化

③消費

- ・ 児童や保護者を対象とした田植え・稲刈り体験交流会の実施
- ・ 学校給食への有機米提供



▲有機農業の振興に係る検討会



▲児童と保護者との体験交流会